

令和2年10月23日

経済産業大臣

梶山弘志 殿

風力発電の真実を知る会
(北海道稚内市はまなす2丁目7番18号)
代表 佐々木邦夫

一般社団法人 北海道自然保護協会
(札幌市中央区北3条西11丁目 加森ビル)
会長 在田一則 (公印省略)

特定非営利法人 サロベツ・エコ・ネットワーク
(北海道天塩郡豊富町字西6条6丁目)
代表理事 吉村 穰 滋 (公印省略)

日本野鳥の会 道北支部
(北海道利尻郡利尻町沓形字栄浜142)
支部長 小杉和樹 (公印省略)

公益財団法人 日本野鳥の会
(東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル)
理事長 遠藤孝一 (公印省略)

日本科学者会議北海道支部大規模風力発電問題研究会
(札幌市北区北22条西2丁目1-2 静麗荘32号室)
幹事 高畑 滋 (公印省略)

道北の自然と再生エネルギーを考える会
(北海道天塩郡幌延町字下沼853番地1)
代表 富樫とも子 (公印省略)

(仮称) 北海道 (道北地区) ウィンドファーム豊富に関する要望書

Loop リニューアルブルエナジー合同会社に対し、経済産業大臣勧告を誠実に履行することを下記のとおり求めてくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1.事業主に対し、「(仮称) 北海道 (道北地区) ウィンドファーム豊富環境影響評価準備書」に対する経済産業大臣勧告を遵守させること。
- 2.チュウヒの健全な繁殖環境の保護を実施させること。
- 3.オジロワシの飛翔域の保護を実施させること。
- 4.風力発電施設のブレードに塗装を行ったり、タワーヘシールを貼付する場合は、それに関わる環境保全措置について地域住民の合意が得られることを条件とするよう求めること。
- 5.風力発電施設等の配置変更を行う場合、施設に起因する騒音、風車の低周波音や影、景観等の評価に関して環境影響評価準備書との大きな相違が生じることが予想されるため、改めて環境影響調査を実施し、結果について地域住民からの合意を得るよう求めること。

(要望の背景)

「(仮称) 北海道 (道北地区) ウィンドファーム豊富」については、三浦電機株式会社から平成 28 年 8 月に計画段階環境配慮書、また平成 29 年 4 月環境影響評価方法書が公告・縦覧され、それぞれについて、平成 28 年 11 月と平成 29 年 10 月に経済産業大臣意見及び同勧告が発せられました。これらについては、私ども団体も同事業実施区域がラムサール条約湿地「サロベツ原野」に近接することから、特に鳥類の保全を中心に自然環境の保全を、さらには近隣住民の健康問題について意見を述べてきました。

令和元年 12 月には三浦電機株式会社から変わった Loop リニューアブルエナジー合同会社から環境影響評価準備書が出され、それに対して令和 2 年 8 月に経済産業大臣勧告が発せられました。

これらの経済産業大臣意見や勧告では、本事業の対象事業実施区域及びその周辺を自然環境保全上極めて重要であると評価し、自然環境に対する影響を可能な限り回避または極力低減することを求めています。また、チュウヒやオジロワシなど稀少猛禽類への影響の懸念から、風力発電施設の基数の削減や配置の再検討等による事業規模の大幅な縮小を含めた抜本的な見直しを求めています。近隣住民の健康への影響も危惧しています。

以上の経過及び本事業実施区域とその周辺地域の自然環境保全の重要性に鑑みて、私どもは貴職に対して、事業主である Loop リニューアブルエナジー合同会社が経済産業大臣勧告を確実に実施するようご指導してくださることを要望いたします。